

千葉県議会議員

# 小宮清子のさわやかメール

発行 社民・県民連合議員団 小宮清子報告版

事務所 流山市平和台2-4-3 広葉ビル201 TEL・FAX04-7159-3781  
E-mail hikomiya2006@yahoo.co.jp

No.35

## 人が人らしく生きぬくために

千葉県議会議員 小宮 清子

### 「福祉県政千葉」実現にまっしぐら

県議会議員として2期8年間、健康にめぐまれ、元気いっぱいの日々、活動してまいりました。首都東京の隣に位置し、600万県民が暮らす千葉県。いろいろな場所で多くの方に出会い学ばせていただきました。農業、水産業、工業の現場にも行き、その力を見てきました。県立子ども病院ではけん命に生きようとする小さな命に、県立富浦学園(児童養護施設)では社会の荒波にむかう若い力に心から、ガンバってほしいと思ってきました。あわせて施設整備、医師の増員を県に強く求めました。男女共同参画促進に関する条例が4年前、廃案になったことは何よりも残念であり、昨年「障

がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の成立は千葉県の将来に一つの明るい灯がともる思いでした。この間多く寄せられた深くこな声は、高齢者の介護のことについてです。これまで比較的若いといわれてきた東葛の地域はこれからが急激な高齢社会へと変わっていきます。人が人らしく生きぬくことのできる社会。その社会をしっかりと支える福祉の施策。生まれてから、その生涯をおえるまで今日の時代、福祉は自分とは関係ないと言いきれるでしょうか。むしろ、福祉はすべての人に関わる政策です。県政に関する世論調査における県政への要望の第一位は14

年間連続して「高齢者福祉の充実」です。この県民の声をなんとしても県政に反映させたいのです。これまでも、そしてこれから、「福祉県政千葉」実現にむけてまっしぐらに進みます。

### 堂本県政6年

## 頑張った、障がい者への差別をなくす条例

県議会での一般質問は一年一度しかとりくむことができません。真けん勝負の緊張した場です。しかし、県政への県民の声を直接届ける場合もあります。すでに堂本県政となってまもなく6年。自民党が3分の2をしめる県議会を相手にした知事の御苦労話、力仕事をうかがうこともあります。

なんとといっても昨年の障がい者への差別をなくす条例では、知事も頑張りました。私たち社民県民連合も頑張りました。



堂本知事に県民の声をしっかりと届けます。



## 保健所はどこへ?

来年4月柏市が中核市に移行することにより、現在、柏保健所の管轄に入っている、流山市と我孫子市は柏市から離れることとなります。この間3回の保健所所管区域等検討委員会が開かれました。①流山市、我孫子市は松戸保健所の管轄にくみ入れる。②サービスの低下はさせない。施設の拡充、人員の増を図るといったことが結果としてまとまりました。しかし駐車場の確保等まだ残る課題があります。なによりも県民に不便のないよう、サービス低下のないように第一の条件です。